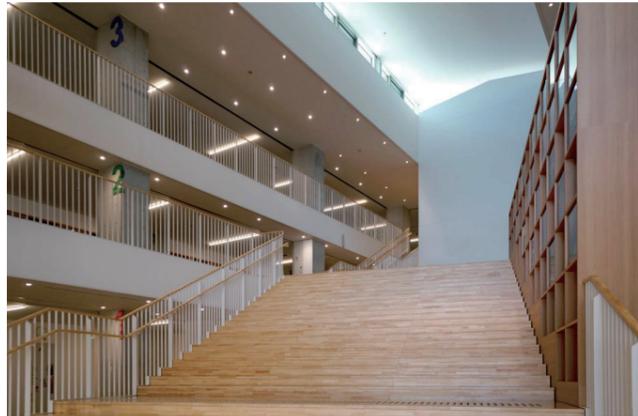


千葉商科大学附属高等学校



外観

2023(令和5)年「千葉商科大学附属高等学校」は、次世代に向け「未来・地域・生徒同士がつながる校舎」をコンセプトとした新校舎が完成。近隣の住環境へ配慮、防災の拠点として地域とつながることを目指している。



大階段

建物中央の吹き抜けを介して校舎全体がつながる。その主役となる大階段は、新校舎のシンボル。主要動線となる階段には温もりのある木材を使用。階段横のウォールには、学校の歴史を伝える写真が展示されている。

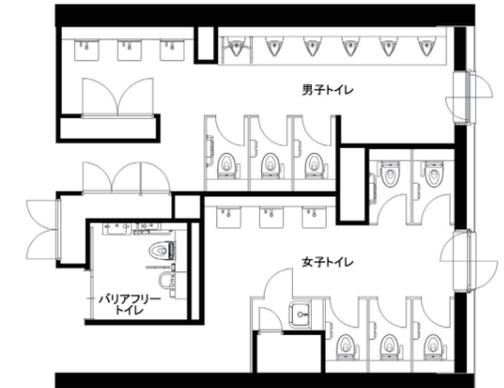


トイレサイン



遠くからでもわかりやすい立体的なデザインのサインを採用。バリアフリートイレのサインには、車いすと男女のシルエットを組み合わせたデザインを併用することで性的マイノリティへの配慮を表している。

1Fトイレ図面



1F女子トイレ 全体

白を基調としながら、窓枠には幅広の木枠の小窓を取り入れ、明るさと温もりを感じさせる空間。各ブースの色は男女同色で、階ごとにテーマ色を設定し、どのフロアにいるかひと目でわかる工夫を施している。



1F女子トイレ 洗面コーナー・大便器ブース



洗面器は、清掃性に優れた壁掛ハイバック洗面器に水石けん供給栓と自動水栓を採用。大便器は連続洗浄可能な壁掛大便器セット・フラッシュタンク式を設置し、すべてに擬音装置搭載のウォシュレットを設けている。



1F男子トイレ

床の清掃性や節水性に優れた壁掛型の自動洗浄小便器を設置。多様な利用者に配慮して、手前の1ヶ所に小便器用手すりを取り付けている。窓の幅広の木枠は、男子トイレにおいても明るさと温もりを演出している。

水まわりの特長

建物の特徴

「千葉商科大学附属高等学校」は、市川市国府台の地に開学した私立高等学校であり、「学校法人千葉学園」が設置、運営している千葉商科大学の附属学校。2023(令和5)年、「進化するSHODAI」をスローガンに、次世代に向け「未来・地域・生徒同士がつながる校舎」をコンセプトとして、高い省エネ性能を実現しながら、地域に愛されることを目指す最先端の新校舎が完成した。建物の中央にある吹き抜けの大階段を介して校舎全体がつながり、光を採りこんだ学びの空間となって生徒や教員が交流する場を目指している。さらに、国土交通省認定の建築物省エネルギーと性能表示制度である「BELS」で最高評価の5スターとZEB Readyの認証を、高等学校の校舎として全国で初めて取得している。

トイレの特長

自然に生徒が集まる場所として機能することを旨とし、校舎の中央、吹き抜けの大階段近くに生徒用のトイレを設置。休み時間などに多くの生徒が利用することを考慮して、前面にゆとりあるスペースを確保している。内装は白を基調に男女でのカラー分けを避け、ジェンダーフリーなカラーデザインを取り入れることで、すべての生徒が快適に利用できる環境を実現。器具は、限られた空間でも居心地のよさを感じるコンパクトなデザインの壁掛ハイバック洗面器や、清掃性や混雑緩和への配慮から連続洗浄可能な壁掛大便器セット・フラッシュタンク式を採用。さらに、すべての大便器に擬音装置を搭載したウォシュレットPを設置し、快適性やプライバシー、節水性にも配慮。学びの空間にふさわしいトイレを実現している。

建築概要

名称	千葉商科大学附属高等学校
所在地	千葉県市川市中国分2-10-1
施主	学校法人千葉学園
設計・施工	鹿島建設株式会社
竣工年月	2023年5月
敷地面積	17,123.88㎡
建築面積	6,411.49㎡
延床面積	13,744.34㎡
構造・階数	鉄筋コンクリート造、地上4階

おもなTOTO使用機器

壁掛大便器セット・フラッシュタンク式:UAXC3CL1AN
 ウォシュレットP:TCF585系 / 棚付二連紙巻器:YH701
 自動洗浄小便器:UFS900R / 壁掛ハイバック洗面器:LSA135AA
 洗面器:L531系 / 台付自動水栓:TENA40A
 水石けん入れ:TLK05203J
 コンパクト・バリアフリートイレバック:UADAK11L2A1ADD2B
 パブリック用手すり:T112CL10、T112CU22



1Fバリアフリートイレ

車いす使用者やおストメイトに配慮して、汚物流しを備えたコンパクト・バリアフリートイレバックを設置している。



2F手洗いコーナー

手洗いをより励行できるよう、トイレ入口の手前に手洗いコーナーを設置。トイレ内の洗面コーナーまで行かずに、気軽に手を洗うことができる。



1F職員用女性トイレ

生徒用トイレと同様に、連続洗浄可能な壁掛大便器セット・フラッシュタンク式にウォシュレットを設置。洗面コーナーはカウンタータイプの仕様とし、非接触で衛生的な自動水栓と水石けん供給栓を採用している。